

<白金標準先物、4000 円へ向けた 3700 円の下げ渋り・・・>



(出所：オアシス)

WPIC2022 年第 1 四半期プラチナ需給報告と JM 社 2022 年 PGM 市場レポートをロンドンで開催されているプラチナウィークで発表している。WPIC も JM 社もロシア制裁を受けロシア産の供給を考慮する事が難しく、需給の増減には触れていないが、WPIC は 2021 年の 35 トンの供給過剰から 19 トンの供給過剰へ縮小を指摘し、JM 社のロシアを削除すると 162.4 トンの総供給に、161 トンの総需要から 1.4 トンの供給過剰と計算され、前回の 34.3 トンから減少する。特に WPIC も JM 社も自動車触媒需要におけるパラジウムの代替としてプラチナへの転換が加速する可能性が高くなると指摘されている。また西側諸国は制裁回避のためロシア産の PGM を除外するため、南アフリカの PGM に対するプレミアムが上昇する可能性がたいと思われる。特に NY マーカンタイル取引所の指定倉庫のプラチナ在庫は、昨年 7 月のウクライナ侵攻以前の 22 トンが先週末には 10 トンまで半減するなど中国の引き合いが強まっている。また週末のコメックスのプラチナ先物オプションのショートポジションが 40%低下し 9.6 トンまで減少するなど上昇に備える動きを見せている。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル**は切り下げるなど強気の予兆であるクロスが発生している。また RCI は**短期**が上昇し、**長期**は下げ渋る動きを見せており、RCI でも強気の予兆であるクロスを示している。特に日足が **10 日移動平均線**や **40 日移動平均線**を上回る動きを示しており、目先高値 4010 円に向けた上昇の可能性が高まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 951,700 円(2022 年 5 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 5 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>